

うるま市火葬場整備事業【設計・建設工事】 募集要項に関する質問に対する回答

No.	書類名	頁	1	(1)	ア	(ア)	a	項目名	質問の内容	回答
1	募集要項	20	6	(2)	イ	(イ)	-	諸室 待合部門	控室とありますが更衣室と考えて宜しいでしょうか。	会葬者や宗教関係者の更衣等を想定しておりますが、詳細については事業者提案とします。
2	募集要項	21	6	(2)	イ	(エ)	-	諸室 外構等	オイルタンクとありますが火葬炉の燃料タンクの事でしょうか。また、燃料タンクであれば建物内設置は可能でしょうか。	お見込みのとおり、火葬炉の燃料タンクです。建物内設置については、建築基準法、消防法など関係法令を遵守し、要求水準書を満たしていれば、問題ありません。
3	請負契約書	21	第 26条	2	-	-	-	賃金又は物価の変動に基づく請負 代金額の変更	請負契約締結から整備工事開始時期まで1年半程度期間が空きますがその間の物価上昇による工事費増大においても1.5%は事業者の負担となるのでしょうか？	お見込みのとおりです。なお、工事着手時期まで長期間となることを鑑み、物価変動については提案日を起算日とすることとしています。
4	請負契約書	21	第 26条	3	-	-	-	賃金又は物価の変動に基づく請負 代金額の変更	着工までの期間で増大した費用の請求日は着工直前でも良いのでしょうか？	第26条第1項のとおり、実施設計図書に係る市の承諾を得た後であれば、着工前でも請求は可能です。なお、変動前残工事代金額は請負代金額から当該請求時の出来形部分に相応する請負代金額を控除しますので、出来形部分に算入する額については追加請求の対象とはなりません。
5	その他	-	-	-	-	-	-	請負代金額 の変更	火葬炉業者決定後、建設側との協議によって図面の変更等に伴う建設費の増大が発生した場合、増額請求は可能でしょうか？ また、その場合においても1.5%分は業者負担となるのでしょうか？	火葬炉企業および設計・建設業務の協議内容に起因する増加費用については、原則事業者負担とします。 ただし、提案前に火葬炉企業と十分協議しており、協議先の火葬炉企業と異なる火葬炉企業が選定され、事前に火葬炉企業と協議していた内容と相当の差異が生じる場合には、増加費用について協議します。 なお、当該差異の確認が出来るよう、提案書及び図面には、火葬炉設備姿図の破線表示、設備負荷等の考え方が分かる記述をしてください。
6	その他	-	-	-	-	-	-	募集要項に対する 回答 No.15 外構計画	現場の状況から、すでに降雨による浸食を確認しております。そのままの状態で放置すると工事の際の振動や火葬場供用後の地山の崩落も考えられます。対策工法については、現況地形や土質調査のデータ不足から想定となり、今後詳細な測量土質調査設計の結果、工法の変更による工事費の大幅な増もあり得ます。その場合、別途事業としての考えはありますでしょうか。また、今回の用地区域外であり、別途用地の追加買収などが考えられます。	要求水準書等で提示している情報からの想定対策費用を越えた場合に関しては協議とします。 なお、対策等に必要調査は速やかに行い、当該協議を遅滞なく実施できるようお願いします。 また、別途事業および用地の追加買収の予定はありません。

うるま市火葬場整備事業【設計・建設工事】 要求水準書に関する質問に対する回答

No.	書類名	頁	1	(1)	ア	(ア)	①	(a)	項目名	質問の内容	回答
1	要求水準書	8	3	(1)	-	-	-	-	施設整備方針方針2	ユニバーサルデザインを採用した施設とすることから、障害者のための「ゆったり駐車スペース」幅2.7m奥行5.4mは、必須ですか。	身障者用駐車場については沖縄県福祉のまちづくり条例の整備基準を満足していただき、その他の駐車場については要求水準書を満たしていれば、どの基準を採用するかは事業者提案とします。
2	要求水準書	11	3	(3)	イ	(ア)	-	-	耐震性能	構造体の耐震安全性の分類はⅡ類とありますが、耐震性能を満たせば構造計算ルート1、2、3は特に問わないと考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
3	要求水準書	18	3	(4)	イ	(オ)	-	-	静止型電源設備	直流電源装置は必ずしも設置するのではなく、電源内蔵型又は受変電設備に付加されて機能的に問題なければ良いと考えて宜しいでしょうか。	直流電源装置を設置有無については事業者提案とします。ただし、直流電源装置を設置せずに他設備・機能で代替する設計とする場合は、設計段階でその性能が分かる資料の提出を求めます。
4	要求水準書	18	3	(4)	イ	(カ)	-	-	発電設備	「燃料の容量は3日間火葬が可能な容量とする。」「常備する燃料は14日分を付加した貯蔵量とする。」と記載がありますが、合計で60件+140件=200件の火葬が出来る燃料容量とすることで考えて宜しいでしょうか。	要求水準書に記載のとおり、火葬業務(火葬炉と火葬業務遂行のために最低限必要な設備)が稼働可能な容量を想定しており、その内の火葬炉(火葬件数)についてはお見込みのとおりです。また、火葬業務遂行に最低限必要な設備としては事務室と会葬者が利用するエリア(待合部門は除く)の照明等を想定しています。
5	要求水準書	18	3	(4)	イ	(キ)	-	-	太陽光発電設備	自家消費用とすると記載がありますが、施設の消費電力より太陽光発電の発電量が上回る場合は売電は考慮しないと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	要求水準書	22	3	(4)	ウ	(コ)	-	-	機械設備 燃料保管設備	火葬炉用の地下燃料タンク容量は、発電設備と同様の考えで合計で60件+140件=200件の火葬が出来る燃料容量とすることで考えて宜しいでしょうか。	火葬炉用の燃料タンク容量はお見込みのとおり、火葬件数200件が可能な容量です。
7	要求水準書	23	3	(5)	カ	(イ)	-	-	業務の報告及び設計図書等の提出	「カ.業務の報告及び設計図書等の提出」に⑥数量調書があります。これは公共工事で行う積算業務の数量調書になりますでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	要求水準書	-	-	-	-	-	-	-	配付資料6 基本計画	現場の状況から地形が急峻であること、また、土質調査の結果N=平均6程度と低いことから、外構擁壁躯体や基礎に、それなりの事業費が必要であると考慮しております。基本計画において造成工事費の約3億について、内訳の提示願います。また、基本計画における擁壁種別(現場打ち？二次製品？)、擁壁基礎の種別(杭基礎？地盤改良？)、仮設の有無(仮設土留の有無等)をどのように考えていたかご教授願います。※擁壁のフーチングと建築物の杭基礎が干渉する恐れあり。	基本計画時の造成工事費についてはあくまでも概算であるため、内訳は提示できません。擁壁及び擁壁基礎の種別や仮設の有無については施工上の安全を検討したうえで事業者提案とします。擁壁のフーチングと建物杭基礎の干渉については問題ない配置となるように事業者提案してください。